

平成 27 年 5 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

5 月は、受注や売上が、一般機器、輸送機器、小売業で増加し、食料品、窯業・土石製品、商店街の一部で売上が増加している。小売業や商店街ではプレミアム付商品券への期待が高い。

一方で、繊維工業、木材・木製品、印刷、卸売業、サービス業、建設業、運輸業では売上や受注が減少しているとの報告で、円安による経費の全般的なコスト増に加えて、繁忙期の人手不足や天候不順への対応などに苦慮する声があり、中小企業の経営環境は依然として厳しい状態が続いている。

山口県の主要指標 DI 値（平成 27 年 5 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈 好転 〉 - 〈 悪化 〉 = 〈 DI 値 〉）

前年同月比は、好転：10.0% 悪化：31.3% DI 値：▲21.3% ポイント

売上高（〈 増加 〉 - 〈 減少 〉 = 〈 DI 値 〉）




前年同月比は、増加：16.3% 減少：30.0% DI 値：▲13.7% ポイント


収益状況（〈 好転 〉 - 〈 悪化 〉 = 〈 DI 値 〉）


前年同月比は、好転：8.8% 悪化：30.0% DI 値：▲21.2% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 27 年 5 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲57.1	▲50.0	▲66.7	▲100.0	0.0	33.3	50.0	▲18.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	全非製造業
0.0	▲55.6	▲75.0	0.0	▲20.0	▲14.3	▲23.4
						

全体
▲21.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	母の日以降、菓子の消費促進につながるようなイベントが無いので、売上に苦戦。下関地区では、高齢のために3店の廃業があった。経費削減の努力により収益が上がったが、消費税の納税額もアップし、資金繰りがとても大変である。	パン・菓子製造業
	4月は最終で+15%の売上となり前年同月を大幅にクリア。5月は5/27現在で昨年同月比+17%程度と依然として好調を維持している。ゴールデンウィーク（4/26～5/6）も対前年で+10%以上の業績。6/14（日）8:25～NHK総合TV「サキどり」ほか、全国メディアに登場の予定。更なる広報の強化のため、4/1付け広報専任担当者を増員配置した。	水産食料品製造業 萩市
	販売量の減少が引き続いており厳しい。業界によっては景気の回復の話も聞くが、小売りはマイナスしているのではないか。今年も原料が上がるが、価格転嫁は非常に難しい。	水産食料品製造業 下関市
	地球温暖化の影響のせいか、作物の生育状況が遅れ気味となっている。また、米余り基調で、米の取引価格が低下しており回復するような傾向は見えていない。このままでは、米の生産の継続ができなくなる生産者が増えることが引き続き懸念される。	精穀・製粉業
繊維工業	主力取引先の在庫が、販売不振により増加したため、受注量が減少しており現況はとても厳しい。実習生受入れは、中国人の募集が困難になり、2月よりベトナム人実習生の受入れをしている。現在、中国人48名、ベトナム人9名の計57名であるが、さらに7月にベトナム人4名の受入れの予定である。年々実習生の技術力、語学力が低下しており、優秀な人材の確保が難しくなっている。	下着類製造業
	生産については大きな変化はないが、消費税増税後の販売不振は回復しておらず、収益が悪化している。当組合の中心的企業で日本製を守り続けてきた会社が5月末に自己破産を申請したが、原因は販売不振でもあるが、売上の良かった海外ブランドの仕入先が海外の販売会社と契約し、仕入れが不可能となったためである。	外衣・シャツ製造業 山口市
	順調に受注が出来ている。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	販売不振で販売価格は下がり、建築会社からの受注も少ない状況が続いている。	製材業・木製品製造業 下関市

印刷	4月に入り極端に需要が落ち込み、昨年の消費税増税時と同じ状況で、5月も4月同様のマイナス基調がつづき、業界全体でも浮揚感はない。	印刷 下関市
	5月はGWの影響もあり、稼働時間が減少、売り上げも厳しい状況であった。	印刷 山口市
窯業・土石製品	前年度同月に比べ出荷数量は全体的に激減しているが、雇用は増加している。アベノミクスは未だ山口での効果は出ていないらしく、公共事業も減っている。販売価格も4月から各砕石組合でも値上げはしたもの、実際は表示価格より安く売っており、これにも限界が来たもようで、今後は組合設定価格（値上げ分）で売るように営業努力が必要になってくると思われる。	砕石製造業
	出荷量は、前月比78%、前年同月比78%。年度当初で工事発注が停滞している。今後本格化すれば出荷量も上向く見通しである。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていないが、生コン価格は萩・阿武地区で4月から正式に値上げ、また、下関地区でも値上げの動きがある。	生コンクリート製造業
	仕事量について若干ではあるが増えてきているように感じる。それに伴い人員不足を訴える組合員もいるが、従業員の新規正規雇用というのも先の事を考えると慎重にならざるをえない。	石工品製造業
一般機器	メーカーの定期検査による受注増加が売上に寄与しているが、本格的な設備投資につながるかどうかは、今後の動向が注視される。	一般機械器具製造業 周南市
	5月の景況は、前月と同様に概ね順調だが、原材料の価格が上昇しつつあり、このコストアップが最終的には人件費に影響するので、昇給をすることが難しい現状である。ガソリンの値上がりもコストアップの原因となっており、今後の見通しは暗くなりつつある。	一般機械器具製造業 防府市
	従来からの機械製造関係、食品加工、スーパー等に加え農業、食肉加工業からも人手不足から、外国人技能実習生受入れと増員の相談があるが、実習生の場合、入国まで6ヶ月位必要となるので、つなぎのため臨時職員の紹介を依頼されることも多い。ハローワークに登録しても臨時職員の確保も難しく、一部、派遣頼みの企業もある。技能実習制度に認められていない職種からの問い合わせも増えている。	一般機械器具製造業 宇部市
	売上高が増加している。	一般機械器具製造業 宇部市

	<p>金型5月の設備操業度は4月と変わっていない。受注はやや低迷状態となったが、完成後の立会い、納入の立会い等で人員の出入りが多く、組立工程以降が忙しい状態。見積り依頼は相変わらずあるが、価格、納期で折り合わず、なかなか決らない。少額価格帯の受注は有るものの、予算的には厳しい状況。組合員企業も営業が、機械、金型とのセット受注に向け受注活動を行っており、工場サイドは提案と営業への応援等も出向く形まで行う受注活動を展開している。成形製品の新規製品の立ち上り等もあり設備稼働率が上昇する要素はあるものの、今まで以上に納期順守、ロスの低減、不良撲滅や稼働効率に努める必要がある。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両部門は、作業量は前年並みだが、展望は明るい。予想される作業量の増加に備え、人、設備等を準備している。精密加工・プラント部門も現状では昨年並みに推移すると見られている。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>消費税増税から一年が経過し、漸く落ち着いた模様。燃料価格が少しづつ上昇しており、収益への影響が懸念される。</p>	各種商品卸売業
	<p>海苔の入札が終わり、昨年より海苔の入庫は増加しているが、他の製品の入庫の落ち込みが原因で売上が減少している。販売不振が続いている。</p>	乾物卸売業
	<p>ふぐシーズンが終わり、他の魚種（タイ、イサキなど）の入荷は多いが値が安いので、薄利多売で販売するほかない。</p>	生鮮・魚介卸売業
小売業	<p>これから陽射しも強くなり日焼け対策が大切な時期となる。お店も夏対策の美容法をお客様にお伝えし、おしゃれを楽しんでいただく事が大切になる。組合事業としては、夏の健康食品コンテストが始まるが、大きな収益事業であるので、是非、目標達成をしたい。</p>	化粧品小売業
	<p>組合員事業所の5月は小売業では売上微増の組合員が多いが、円安による仕入れ単価上昇商品（乳製品）がでてきており不安材料となっている。7月4日より販売のプレミアム付商品券に期待が集まっている。地区内の中小企業者の動向としては、地区内での倒産関連の情報は少なく景気が良好なように見えるが小規模企業は何とか事業を継続している状況である。求人倍率が上昇しているが、雇用のミスマッチは依然継続しており、特に建設・警備・介護・飲食業で人手不足である。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>総会で、当年度の商店街関係の活性化策が発表され、期待している。</p>	各種商品小売業 周南市

	4月は前年の反動から11.3%の増加。5月は5/20日時点では、前年よりも売上が微増しているが、商店街の人通りは減少気味に思える。	各種商品小売業 山口市
	先月同様、既存店ベースでは、売上、客数共にほぼ前年並ですが、昨年の退店が影響し、売上、客数共に前年を下る状況。この状況は今年の7月まで続くと思われる。	各種商品小売業 長門市
商店街	6月から始まるプレミアム付商品券による購買に期待をしている。1年前の消費税増税の後、商店街に活気が無く、売上の減少、収益が悪化している。	山口市
	地方創生の施策、プレミアム付商品券により、玩具・医療・宝飾など、日常購入しない買い物が増加しており、お店としてはうれしいところである。しかし、萩の場合は4月から9月が対象でこの効果も下降していく不安がある。この様な一時的な景気対策も必要かもしれないが、日常の購買力を上げる根本的な対策がほしいと話が出ている。	萩市
サービス業	連休明けで、客足が少し低迷しているように思われる。客層によって、時間帯が違うので、午前中忙しい店と、若いお客様の来られる店は、昼から夕方遅くまで営業する店とに分かれている。	美容業
	理容業界を取り巻く環境は依然として厳しく、高齢者等の脱退がある。	理容業
	県内のハイブリッド車の保有台数が6万台を超えた。また、自動ブレーキ等の新技術を搭載した自動車が増加しており、整備事業者の技術対応力強化が急がれる。	自動車整備業
	5月は、全般的に暑い日が続いたので、売上、仕事量的に順調に推移している。	
	会員数がこれから増加していく時期。少子化の影響はある。梅雨が早く開け、暑い夏になることを願う。	スポーツ・健康教授業
	宿泊人員及び売上高とも対前年5%伸びを示した。「花燃ゆ」効果がやっと出てきた状況と思われる。	旅館業 山口市
	前年に比べ、日本糖尿病学会が全国規模の学会を下関で開催したので、組合員は売上・収益ともに好転した。	旅館業 下関市
	昨年度より飲食部門で営業変更があり、売上高は35%の減額となった。総売上高としては12%の減額となった。収益状況は人件費の削減や光熱費等の単価減により若干の増加となった。しかし、地方の観光事業の業界では厳しい状況となっている。	旅館業 長門市
	客単価を上げるため、個室の増設や個室風の改装を行っている地域（支部）がある。多少の効果はあったが、さほどの効果は出ておらず、まだまだ景気上	飲食業

	向きの景況にない。運転資金についても余裕があるところは少ない。	
	5月は業界にとっての繁忙期であるが、中旬の天候不順で気温が低く、衣替えが進まなかった模様。全体的に品物の出が悪い状況のようである。ここに来て気温が急上昇。毛布や布団類が一気に動き出し、5月後半で前年並みに盛り返せそうである。	普通洗濯業
建設業	中電への工事申請は4月155件（当支部分126件）、前年同月147件（同113件）。太陽光発電への申請21件、オール電化申請37件（前年は太陽光9件、オール電化28件）。LED街路灯への切替・新設申請は42件（前年61件）であった。対前年申請件数の大幅な減少は消費税増税前の駆け込み需要が要因と思われる。	電気工事業
	岩国地区を除き工事量が減少している。これに伴い元請企業間の競争が進みつつあり受注単価回復の足踏みが懸念される。	左官業
	山口県内では山口・防府地区、岩国・和木地区での発注が多く、柳井地区はほとんど工事の発注が無いとのこと。年間の工事発注時期の平準化と共に地域の平準化も必要である。あるべき工事が無いため、トップに元気がなく、下のものまで元気がなく、各種政策・施策等に関心が無く、悪循環が続いている。	土木工事業 柳井市
	昨年の年度初めも、我が地域の公共工事発注はなかった。今年も同様で、4月に引き続き5月も同様。	土木工事業 周南市
	4月の受注高は対前年同月比で895%。	土木工事業 萩市
	徐々に発注が始まっているが年度始めで発注量が少なく競争のため入札価格が下がり、経営が圧迫されている。土木関連は増して仕事の発注量が少ない模様である。燃料費も徐々に高くなり懸念材料である。組合員の全てが十分な仕事量を確保できるのは10月頃となる見通しで、今年度も全体発注量は昨年同様と予測はしている。人材不足は続いており、先の見通しを立てることが困難な時代となり、また年度当初の仕事の無さもあり、新規採用を見送って、雇用を維持している。ベースアップも検討しにくく、各社ともボーナスの支給で対応している。	管工事業
運輸業	5月の連休の稼働率は60%弱で、売上は約38%の減。運送業にアベノミクス効果は無い。燃料費は0.5円の値上げもあり、月毎に値上げの傾向で、運賃が据え置きのままの中小企業輸送業者の経営は月毎に圧迫されてきている。	一般貨物自動車運送業 下松市

<p>5月の稼働は全体的に前年同月比で上昇しているが、自動車関連の輸送では5月の連休が例年より長かったこともあり、売上は良くない。燃料費は前月より上昇傾向にある。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
<p>全般的に荷動きは芳しくない。特に地区建設業ダンプロトラックの仕事が減少している。公共事業の減少や顧客の縮小等が影響していると思われる。倉庫は安定している。燃料がじわじわと値上がりしており、収益に影響している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
<p>一時的と思うが仕事量が減っており、組合員の業況は良くない。燃料も上がり気味で、10:94円である。ETC事業は4月より順調に推移している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込）は、前年比+0.7%（平成27年4月1日～平成27年5月20日分）。平成27年4月1日～30日分は+3.9%、平成27年5月1日～20日分は▲5.0%となった。4月分が+となったのは、消費税増税の反動で特別に悪かった昨年との比較であり、一時的なものと思われる。4月分は、防府市地区が減少、周南、下松市は微増、光市は増加している。主要燃料のLPGは、CP（通告価格）と為替に連動するが、為替は若干円安、ブタン、プロパンのCPは前月分よりも若干上昇し、購入単価は先月と同額で、高騰した前年より22%安価となった。8%の消費税の納税の資金繰りが各社負担となっており、10%への増税は個人消費だけでなく、特に地方の中小企業の企業活動の足かせになると懸念している。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
<p>先月同様、対前年比では若干減少。売上高は前月並みで推移している。「我々のいる地方の経済にはアベノミクス効果は感じられない。」との会員事業者からの声も聞かれる。</p>	<p>港湾運送業</p>